

宇工高同窓会々報

会員の皆様へ

同窓会長

岡田 義治



同窓会々員の皆様には、健康やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

一昨年九月に校舎を新築・移転した新生・宇都宮工業高校は、地域の皆様の温かいご支援を頂きながら、順調に新しい歴史を刻みはじめました。グラウンドに面した校舎の南西隅に新たに建築した「初代校長・安 美賀先生胸像」も、すっかり新校舎に融和し、本校の新しいシンボルになりつつあります。

を迎えます。同窓生の皆様には、この機会に是非、宇都宮工高に親しんで頂き、多方面からの適切なご助言をお願いしたいと思います。

同窓会では、現在旧校舎跡地に「記念碑」を建てる計画を着々と進めております。

跡地は「県の高等特別支援学校」(南側)と「市立一条中学校」(北側)が、敷地をほぼ二分する形で共同利用する計画で、ともに平成二十八年四月の開校が予定されております。懐かしい旧校舎も本年中には解体され、平成二十六年春頃から、県と市による建設工事がはじめられます。

宇工高発祥の地を刻む「記念碑」も、県や市の工事の推移を睨みながら、指示を受けて、平成二十六年乃至七年中の完成を目指したいと考えております。現在のところ、宇工の正面ロータリーにあつた大きな岩を中心に、全国の公立高校ではじめて認証を受けたISO記念碑などを配置し

て、新しい学校に配慮したデザインとすることを考えています。同窓会としても、皆様のご提言に大きな期待をもっております。

あいさつ

校長

矢古宇 好道



同窓会の皆様には、日頃より在校生へ熱いご支援を賜り、また、学校の繁栄の為お力添えを頂き感謝申し上げます。

平成二十三年九月雀宮への新校舎移転、そして、科学技術校としての使命を持ち現在を迎えております。四系七学科十一コースの新しい学び方

発行所
宇都宮市雀宮町52番地
電話 (028)678-6500
宇都宮工業高校
同窓会事務局

に加え、最新の素晴らしい実習機器も整備され、新たな時代の先端をゆく工業高校として歩み始めているところがございます。今、先端的な科学技術に対応できる資質と意欲をもつ生徒の育成に力を注いでいます。さらに、本県産業の将来を担う技術力に対応できる人材の育成として、ものづくり教育を、工業人としての倫理観等の育成として、環境教育を、さらに、大学進学等の継続教育への対応として、継続教育を謳い、三つの「ものづくり」「環境」「継続」教育を柱として教育を進めています。また、高大連携や企業連携を活発に行うなど、様々に教育を展開しております。さらに、県内工業高校の拠点校としての役割を果たしてゆく所存であります。

結びに、本校は、平成二十五年度創立九十周年を迎えます。同窓会の皆様には、母校の発展のため一層のご支援をいただきますようお願いを申し上げます。

事務局より

一 叙勲祝賀会

電気科三十八年三月卒の黒澤敏男様が栄えある二〇一二年春の黄綬褒章を受章されました。黒澤様は一九八二年に

東栄設備工業(株)を設立され同代表取締役・栃木県営工業連合会会長・全国営工連合会副会長の要職も歴任されております。総会後、祝賀会を開かせて頂き今後の更なるご活躍を記念申し上げます。受章誠にありがとうございました。



二 創立九十周年記念事業実行委員会の発足

平成二十四年七月三日に創立九十周年記念事業実行委員会が発足し、岡田義治同窓会長が実行委員長に付されました。また、同記念式典及び祝賀会が平成二十五年十月二十五日に開催されることも決定しました。

同窓会として母校への後援を行いますので、会員の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

全国大会出場・県大会 四連覇

バスケットボール

主将 佐藤 翔 耶

バスケットボール部は、新人大会準優勝、その他ウインターカップまでの四つの県大会全てを優勝し三冠を達成することができました。また、インターハイ七年連続出場や冬の全国大会であるウインターカップに三年連続出場など、栃木県代表として全国大会を経験することができました。石川県で行われたインターハイでは、私達の代となつて初めて経験する全国大会で、このような大きな舞台に立てることを嬉しく感じる反面、栃木県代表としてのプレッシャーがありとても緊張しました。

一回戦、北海道代表旭川大高との対戦。試合の出だしはどちらも良好で二進一退の攻防が続いていましたが、残り一分で宇工が連続でシュートを決め、前半を34対36で終えました。後半、両チームともリードを奪われないうちに激しい攻防が続きました。途中、旭川にリードされる場面もありましたが、冷静な試合運びで再度逆転し、70対75で接戦を制しました。

二回戦の福岡県代表の福岡

第二高校には相手の高さに対応できず、後半追い上げを図ったものの129対91で負けしまいました。私たちの力を出しきれなかった、悔しい試合になりました。

この負けた悔しさをバネに、次の全国大会であるウインターカップに向けて体力の強化を図るなど、必死に練習して大会に臨みました。

一回戦はインターハイのリバウンド王・得点王を要する、高知県代表明德義塾高校との対戦でした。結果は103対90の13点差で惜しくも負けてしまいました。私たち三年生の最後の大会が終わりとても悔しかったです。一・二年生にとっては、全国で戦う厳しさを肌で感じることでできた貴重な経験になったと思います。この経験を生かして、この先「戦」を大切



に戦い、「試合ずつ勝ち進み全国制覇を目指して、これからの練習に全力で取り組んで欲しいと思います。」

最後になりますが、三年間ご指導くださいました千村先生をはじめ、篠崎先生、佐藤先生ありがとうございました。

第60回春季関東地区 高等学校野球大会出場

野球部

主将 高野 裕 基

春季栃木県高校野球大会では4年ぶりの優勝。そして、関東大会という大きな舞台に立てたことは大変うれしく思っています。高校野球のトーナメントの中で、チーム全員がつになり最後まで粘り強く自分の力を出し切ったからこそ、このような素晴らしい結果を出すことができたと思っております。この県大会優勝は、チームメイトや支えてくださった方々の力があつたからこそ勝ち取れたものだと思います。

関東大会は埼玉県で開催されました。相手校は東海大甲府高校でした。全国でも有名な強豪校です。試合前には、「チームの持ち味を出して、粘り強く戦おう」と試合に臨みました。しかし、思った以上に相手の投打のレベルが高く、試

合は惜しい結果で終わりました。また、県外の高い壁を知ることができ、自分たちに足りないものを見つけることができました。今回の関東大会は、とても収穫の多い大会になったと思います。この高い壁を近くで見ていた後輩たちには、この壁を乗り越えられるように日々切磋琢磨してほしいと思います。

また、諸先輩方が今まで築き上げてきた「宇都宮工業」という大変歴史のあるユニホームを着られたことは、とても嬉しく思います。これも、今まで支えてくださった方々のおかげだと思えます。応援していただき本当にありがとうございました。後輩たちには、「宇都宮



工業高校」という歴史ある名を全国に知らせられるよう頑張つてほしいです。

26年ぶりの3位

サッカー部

主将 堂野 友 詞

我々サッカー部は、一昨年の夏から私が主将という立場で「県大会ベスト4」と「県立高校1位」という目標に向かって日々の練習に取り組んできました。60人を超える部員の先頭に立ちとても責任を重く感じていましたが、監督やコーチまた同じ学年のチームメイトやマネージャーの支えもあり頑張ることが出来ました。そして今年の成績は、県新人大会・関東大会県予選会・インターハイ予選会で全てベスト8に入り、最後の大会の選手権大会県予選会では26年ぶりの第3位になることが出来ました。

最後の大会では、1回戦・2回戦ともに苦しみながら延長戦の末勝利し、向かえた準々決勝の相手は小山南高校。関東予選とインターハイ予選でベスト4を懸け戦い、2度も負けていました。次こそは、今度こそは勝つてやるという思いで挑みました。前半は、0対0、後半の20分位にフリーキックからのセットプレーで先制しましたが、後半の終了残りわ

が出来たことはとても貴重で良い経験になりました。

最後になりましたが、いつも近くで選手のサポートをしてくれた中原マネージャー、サッカー人生に協力してくれた両親、試合がある度にわざわざ足を運んでくださった保護者の方々、そして岡田先生・三星先生・戸坂先生に、とても感謝しています。後輩達には、私達以上の結果を残し感謝の気持ちを形にして伝えられるように日々の練習に励んでほしいと思います。



ずかの時間に1点を奪われ追いつかれてしまいました。1対1のまま延長戦でも決着がつかず、PK戦になり6人目でキーパーがとめてくれ5対4で勝利し、宇工サッカー部として26年ぶりのベスト4進出を決めることが出来ました。次の準決勝では、真岡高校に負けてしまいました。大きな舞台で試合

全国定時制通信制軟式野球大会に参加して

定時制

教諭 吉 柴 崇 明

軟式野球は、県定通総で優勝しても、北関東大会で群馬県の優勝校に勝たなければ全国大会への切符が手に入らない。過去3年間、北関東大会において、群馬県代表の桐生工業高等学校に敗れ、苦しい思いをして来た。今年度は、1年次2名、2年次6名、4年次3名の計11名の部員で各大会に臨み、県大会は優勝することができた。北関東大会では、昨年同様、桐工との顔合わせとなった。4回に桐工に1点先制されたが、6回に宇工が2点を上げ逆転。9回に1点を取られ同点となったが、9回裏に



宇工がスクイズを決め、3対2でサヨナラ勝ちを収め、4年ぶり18回目の全国大会の出場を決めた。

全国大会は8月20日〜23日の日程で例年より1週間ほど後に開催された。1回戦の相手は、沖縄県立泊高校であった。初回、1点を先制されたが、失点を1点で抑えることができ、1回の裏に2点を返し逆転に成功した。さらに、3回裏にデットボールとヒットで1点、8回裏にフォアボールとヒットで1点追加した。そして最終回を失点1点で抑え4対2で勝利した。初戦突破は10数年ぶりの快挙であり、野球部を続けて来て良かったと思えた瞬間であった。2回戦は、宮城県の貞山高校と、駒沢球場で戦った。あと1勝で憧れの神宮球場で試合が出来ると思気込んで臨んだ試合であったが、7安打、4つのフォアボール、2つのデットボールを与えてしまった。宇工も3本の長打と1本のヒットで得点するも、2対10で7回コールド負けを喫した。

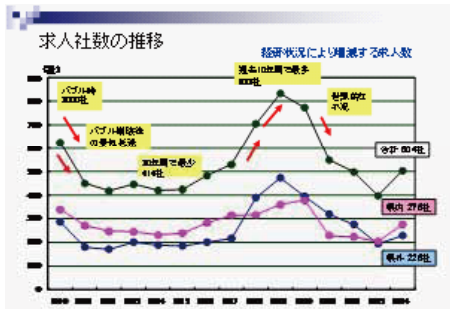
25年度は、60回の記念大会で、県で優勝すると全国大会に出場できる。夏空の下、神宮球場でプレイ出来るように、人生において良い経験が出来るように、この上ない喜びを感じられるように努力してもらいたい。

平成二十四年度の進路

進路指導部 蓮田 裕一

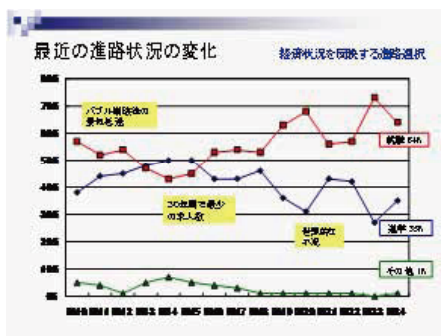
一 近年まれに見る高合格率を示した就職

今年度の高校生の求人数が昨年の三割減という新聞掲載を受け、四月から三学年及び各工業科と連携し、放課後に就職者についても一時間の課外授業を展開しました。履歴書の書き方・SPI検査対策・歴代の卒業生が残してくれた受験報告書の研究・面接練習など、早くから就職試験対策に取り組みました。



本年度の求人企業社数は予想に反して、昨年の四二五社から五〇四社に増加しました。早くからの備えもあり、就職一

次試験で九〇%以上の生徒が合格し、年内に全員就職が内定しました。



二 過去三番目の国立合格者を輩出した進学

大学に六四名、短大・大学校十一名、専門学校に三五名が決定しています。今年度も宇都宮大七名・福島大四名をはじめ、国立大学に十七名が合格しました。科学技術高校に向けて取り組んできた結果と考えています。進路指導について地域と中学生、そして保護者の方々から評価されるような学校づくりを目指すと共に、就職一〇〇%内定を続け、今後とも国立大学合格者も常に工業高校でベスト五に入るといふ気概を持って臨んでいくつもりである。

平成23年度収支決算報告

平成24年度予算(案)

(1) 一般会計

収入金 5,447,816円
支出金 4,117,231円
残 金 1,330,585円
自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

(1) 一般会計

収入金 4,670,585円
支出金 4,670,585円
残 金 0円
自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日

■ 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 繰越金, 永久会員費, 雑収入, 計.

■ 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 23年度予算額, 24年度予算額, 増減, 備考. Rows include 繰越金, 永久会員費, 雑収入, 計.

■ 支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 会議費, 事務局運営費, 渉外費, 事業費, 教育活動後援費, 慶祝費, ISO維持管理費, 同窓会HP管理費, 予備費, 計.

■ 支出の部

Table with 5 columns: 科目, 23年度予算額, 24年度予算額, 増減, 備考. Rows include 会議費, 事務局運営費, 渉外費, 事業費, 教育活動後援費, 慶祝費, ISO維持管理費, 同窓会HP管理費, 母校映像記録費, 計.

(2) その他

① 基金

(単位:円)

Table with 4 columns: 基金(90周年準備金含む), 103,510,649(4,000,000), 栃木銀行 22,601,626, 足利銀行 60,909,023, 日光杉並木基金 20,000,000.

(2) その他

① 基金

(単位:円)

Table with 4 columns: 基金(90周年準備金含む), 103,510,649(4,000,000), 栃木銀行 22,601,626, 足利銀行 60,909,023, 日光杉並木基金 20,000,000.

② 校舎新築・移転に伴う同窓会事業の協賛金

収入 23,705,246 支出 25,826,130 計 △2,120,884(基金より支払)

監査報告

母校において、関係諸帳簿・領収書・通帳等と照合の結果、予算の執行・記帳・その他について、正確であり誤りのないことを証明します。

平成24年5月19日

会計監査

同窓会定期総会報告

平成二十四年度総会は、平成二十四年六月九日(土)、ホテル九治宇都宮に於いて常任理事会に引き続き開催されました。平成二十三年度決算報告及び平成二十四年度予算案が掲載して有りますのでご覧下さい。



同窓会事務局の動向

教頭の五月女勉先生が栃木工業高校長に、土木科の三星敦史先生が真岡工業高に異動されました。

四月には土木科に菊池正典先生、建築科に立石弥保先生、イ設科に湯本実成先生、定時制機械科に成木昌彦先生が赴任されました。宇工出身の教職員は二十五名になりました。

同窓会長賞・奨励賞

同窓会長賞として電子機械科上ノ園一真君に、同窓会長奨励賞を生産システム研究部科学技術研究部に授与致しました。

議題である九十周年記念事業の後援、校歌の枠、旧学校敷地への記念碑建立についても

平成24年度役員

- 治男 一夫 男 造一 久 薫之 明 好 蔵一 夫 男 誠 雄 宏 道 男 男 隆 長 雄
義 繁 英 忠 秀 恭 林 弘 智 倭 秀 一 健 富 和 成 光 好 政 辰 良 勇
田 田 津 口 藤 井 津 井 梶 田 林 橋 成 田 部 瀬 藤 塚 島 宇 尻 田 沼 平 辺
岡 嶋 阿 湯 齊 今 梅 藤 宇 亀 和 根 大 小 板 吉 福 阿 猪 伊 飯 中 矢 野 亀 柿 小 渡
長 副 会 長 岡 嶋 阿 湯 齊 今 梅 藤 宇 亀 和 根 大 小 板 吉 福 阿 猪 伊 飯 中 矢 野 亀 柿 小 渡
監 査 員 岡 嶋 阿 湯 齊 今 梅 藤 宇 亀 和 根 大 小 板 吉 福 阿 猪 伊 飯 中 矢 野 亀 柿 小 渡
参 事 岡 嶋 阿 湯 齊 今 梅 藤 宇 亀 和 根 大 小 板 吉 福 阿 猪 伊 飯 中 矢 野 亀 柿 小 渡